

一点で手をつなごう

ほとんど毎日、国会前に通いつめました。SEALDs（シールズ）さんが来てからは、特に人があふれましたね。紙とペンを持った女子学生に「なんて書いたらいいでしょうか？」と尋ねられ、「あなたの気持ちを書いたらいいのよ」と励ましたり。いろんな出会いがありました。

主権在民が崩されようとしているときに意思表示をしなかったら将来に禍根を残します。先の大戦も人々の無関心のなかで突き進んだのではない

か、歴史を繰り返したくありません。さまざま運動があり、それぞれ違いがあります。けれど分裂させられてはなりません。「戦争法廃止」「憲法の理念を守る」の一点でしっかり手をつなぎたい。署名は、そのことを確認させてくれます。

主婦連合会会長

有田 芳子さん



広げよう
2000万署名

私もサイン



安倍内閣は、「異常」と言わざるを得ません。戦争法の強行成立はもちろん、TPP（環太平洋連携協定）、特定秘密保護法、辺野古……。国民が声をあげても何も気にしない。人間性が欠けているの一言がぴったりです。

食の安全・消費者問題に
長年取り組む弁護士

神山 美智子さん

「企業が世界一活躍しやすい国をつくる」と称して健康食品の機能性表示を解禁しました。国民の健康よりも企業の活躍が最優先です。国家滅亡の道を歩んでいると思えません。

そんななかでも、まだ圧倒的多数が安倍内閣を包囲するとはなっています。署名の出番です。署名をすることは考えることです。署名をする、周りに呼びかける、その行為が一人ひとりにとって考えるきっかけになるからです。

一人ひとりの契機に